

# ウズベキスタン

2022年10月20日

海外調査部・タシケント事務所

2021年の実質GDPは前年比7.4%増と、世界経済がコロナ禍の影響を受ける中でウズベキスタンは早期に立ち直り、高い成長率を達成した。貿易収支の赤字を国外からの送金などで補填する経常収支の構造に大きな変化はない。新型コロナの影響下でも通貨スムの為替レートは安定している。政府の対外債務残高も持続可能な範囲に収まっている。日系企業による投資案件は実行・拡大フェーズに入っており、日本・ウズベキスタン両国間の経済関係の深化が少しずつ進んでいる。

## ■加工業が経済成長を牽引

ウズベキスタン国家統計委員会の発表によると、ウズベキスタンの2021年GDPの産業別の成長率は農林水産業が4.0%（前年実績2.9%）、建設が6.8%（同9.5%）、鉱工業が8.7%（同0.9%）、サービスが9.2%（同0.7%）だった。IMFは同国の力強いファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）、持続的な財政運営などにより、政策当局がパンデミックの影響を緩和するため強力な行動をとることができたと評価している。

鉱工業生産額は451兆6,000億スムで、最大シェア（83.0%）を占める加工業の内訳は金属（25.7%）、繊維・衣類・皮革（17.8%）、機械・設備・自動車（17.6%）、食品・飲料・たばこ（16.8%）、化学品・ゴム・プラスチック（9.4%）だった。加工業の成長率は前年比8.2%で、経済成長を牽引した。

サービス産業の売上高は283兆3,016億スムで、最大のシェアは商業（25.7%）、以下運輸（23.8%）、金融（21.1%）、通信・情報（6.0%）、教育（4.2%）となっている。

2021年の消費者物価指数（CPI）上昇率は前年末比10.0%（2020年は11.1%）だった。食品は13.0%、非食品は7.8%、サービスは7.7%だった。食品では油脂（26.4%）、野菜・塊茎・豆類（22.6%）、砂糖・菓子・デザート（14.8%）、果物・ナッツ類（14.5%）、魚介類（12.2%）、食肉・肉製品（11.6%）の価格上昇が目立った。

通貨スムの為替は安定している。中央銀行の発表によると、2021年末のスムの対ドルレートは前年末比3.4%安で、過去3年間で最も下落率が小さかった。輸出収入と国内向け国際送金がいずれも34%増加したことが、国内為替市場で外貨供給を支える要因となった。

## ■金の輸出減少、軽工業品・非鉄金属などの輸出が増加

国家統計委員会によると、2021年の貿易は輸出が前年比10.3%増の167億ドル、輸入が20.6%増の255億ドルで、88億ドルの貿易赤字となった（前年は61億ドルの赤字）。

輸出では金が前年比29.2%減の41億ドルとなり、輸出総額でのシェアを24.7%に減らしている（前

年シェア38.4%)。一方、軽工業品、非鉄金属など工業製品の輸出が前年比49.1%増の43億3,308万ドルとなった。主要輸出国は、中国、ロシア、トルコだった。

輸入の主要なシェアは、機械・輸送用機器 (32.4%)、工業製品 (18.5%)、化学品 (14.3%) となっている。主要輸入国は、ロシア、中国、カザフスタンで、輸入額の51.5%を占めた。

中央銀行によると、2021年の経常収支は48億ドルの赤字だった (2020年は30億ドルの赤字)。経常収支の赤字は一次所得 (直接投資収益、証券投資収益など) と二次所得 (国外からの送金など) の黒字が貿易収支の赤字額と比べて小さかったことによる。2021年の対内直接投資額 (国際収支ベース、ネット、フロー) は20億ドル (2020年は17億ドル) で、内訳は株式資本と収益の再投資 (生産物分与契約締結企業分を除く) が19億ドル、親会社からの借入金など負債性資本が4億3,500万ドルのいずれも流入超だったが、生産物分与契約に基づく企業の投資は3億2,500万ドルの流出超だった。

2021年の大規模な外国投資の事例として、アラブ首長国連邦 (UAE) ・マズダールによる100MW太陽光発電事業 (ナボイ州)、ロシア・ガस्पロムによる「独立25周年」ガス田開発および天然ガス加工化学プラントの建設案件 (スルハンダリヤ州) がある。

2022年1月1日時点のウズベキスタンの対外債務残高は前年初比20.5%増の437億ドルで、このうち中央銀行を除く政府部門が179億ドル (11.2%増)、民間非金融部門が154億ドル (27.5%増) を占めた。

財務省資料によると、2022年初時点の公共および公的保証対外債務残高のGDP比は34.1%で、政府の保守的な債務管理方針により持続可能な水準で維持されている。大口の債権者はアジア開発銀行 (52億ドル)、世界銀行 (43億ドル)、国家開発銀行 (中国、22億ドル)、国際協力機構 (日本、21億ド

表1 ウズベキスタンの主要品目別輸出入

(単位: 100万ドル、%)

品目	輸出 (FOB)			
	2020年	2021年		
	金額	金額	構成比	伸び率
工業製品	2,906	4,333	26.0	49.1
金	5,804	4,110	24.7	△ 29.2
サービス	2,005	2,582	15.5	28.8
食料品・家畜	1,336	1,372	8.2	2.7
化学品	821	1,131	6.8	37.8
鉱物性燃料・潤滑油	659	915	5.5	38.8
機械・輸送機器	434	694	4.2	59.7
非食料品原料	456	510	3.1	11.7
その他	680	1,017	6.1	49.6
合計	15,102	16,663	100.0	10.3

  

品目	輸入 (CIF)			
	2020年	2021年		
	金額	金額	構成比	伸び率
機械・輸送機器	7,954	8,252	32.4	3.7
工業製品	3,581	4,722	18.5	31.9
化学品	2,881	3,648	14.3	26.6
食料品・家畜	1,851	2,510	9.8	35.6
サービス	1,221	1,767	6.9	44.7
鉱物性燃料・潤滑油	1,107	1,557	6.1	40.6
その他	2,557	3,052	12.0	19.3
合計	21,154	25,508	100.0	20.6

(出所) ウズベキスタン国家統計委員会

表2 ウズベキスタンの主要国別輸出入

(単位: 100万ドル、%)

	輸出 (FOB)			
	2020年	2021年		
	金額	金額	構成比	伸び率
中国	1,937	2,529	15.2	30.6
ロシア	1,486	2,088	12.5	40.6
トルコ	1,019	1,692	10.2	66.1
カザフスタン	908	1,178	7.1	29.7
キルギス	760	792	4.8	4.2
アフガニスタン	777	667	4.0	△ 14.1
タジキスタン	405	502	3.0	23.9
ウクライナ	124	233	1.4	87.8
カナダ	142	200	1.2	40.4
日本	10	14	0.1	36.0
合計 (その他含む)	15,102	16,663	100.0	10.3

  

	輸入 (CIF)			
	2020年	2021年		
	金額	金額	構成比	伸び率
ロシア	4,174	5,462	21.4	30.9
中国	4,501	4,923	19.3	9.4
カザフスタン	2,097	2,742	10.8	30.7
韓国	2,099	1,841	7.2	△ 12.3
トルコ	1,087	1,718	6.7	58.0
トルクメニスタン	412	710	2.8	72.3
ドイツ	759	694	2.7	△ 8.7
ウクライナ	316	473	1.9	49.8
インド	423	461	1.8	8.9
リトアニア	473	439	1.7	△ 7.2
日本	200	157	0.6	△ 21.4
合計 (その他含む)	21,154	25,508	100.0	20.6

[注] サービスを含む。

(出所) ウズベキスタン国家統計委員会

ル)、中国輸出入銀行 (20億ドル)、イスラム開発銀行 (9億ドル) などとなっている。

表3 ウズベキスタンの対内直接投資の推移<実行ベース、ネット、フロー>

(単位:100万ドル)

	2018年	2019年	2020年	2021年
対内直接投資額	625	2,317	1,728	2,045

[出所] ウズベキスタン中央銀行

## ■日系企業による投資事業が拡大フェーズに

日本側貿易統計 (通関ベース) によると、2021年の対ウズベキスタン輸出額は前年比31.0%増の1億8,499万ドル、輸入額は75.0%増の1,547万ドルで、ウズベキスタン側の入超となった。日本からの輸出は自動車 (バス、トラック)、原動機、ゴム製品、建設用・鉱山用機械などが伸びた。日本の輸入では化学肥料、野菜などが大きく増加した。

2019年12月のシャフカト・ミルジヨエフ大統領の訪日以降に開始された日系企業のウズベキスタンへの投資事業が本格的に稼働し始めた。日系Eラーニング大手デジタル・ナレッジによる日本の大学の通信教育サービスの提供拡大、日系ホテル事業大手H.I.S.ホテルホールディングスによるタシケント市でのホテル開業、日系商社含む国際コンソーシアムの天然ガス発電事業への参画などが挙げられる。ウズベキスタンでは2022年6月に新型コロナ関連の検疫措置が撤廃され、入国に当たりPCR検査の陰性証明書も不要になった。出張目的での日本企業関係者の入国も増えている。

## 主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口:3,543.4万人 (2022年4月1日)			
②面積:44万8,924km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP:2,002米ドル (2021年)			
④実質GDP成長率 (%)	5.7	1.9	7.4
⑤消費者物価上昇率 (%)	15.2	11.1	10.0
⑥失業率 (%)	9.0	10.5	9.6
⑦貿易収支 (100万米ドル)	△ 6,834	△ 6,052	△ 8,845
⑧経常収支 (100万米ドル)	△ 3,366	△ 3,007	△ 4,810
⑨外貨準備高 (グロス) (100万米ドル)	12,843	14,687	14,189
⑩対外債務残高 (グロス) (100万米ドル)	26,331	36,295	43,724
⑪為替レート (1米ドルにつき、スム、期中平均、公定レート)	8,837	10,054	10,609

[注] ⑤:12月の前年同月比  
 [出所] ①④~⑦:ウズベキスタン国家統計委員会、②:国土地理国家委員会、⑧⑩:ウズベキスタン中央銀行、③⑨⑪:IMF

(お問い合わせ先)

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD-RUS@jetro.go.jp